



◆図書館だより◆

2019年 9月 4日 No326

なんだりかんだり



"NANDARI-KANDARI" means "Anything". In other words we call it "森羅万象".

日本大学第二学園図書館

◎はじめに

夏休みに入ってすぐに厳しい暑い日が続き、連日、体調を整えるのに苦労された人も多かったと思います。皆さん、お変わりありませんか？

さて、いよいよ第二学期が始業しました。気持ちや生活のリズムを一日も早く通常に切り替えて、これからの学園生活が更に実りあるものとなりますよう、お互いに頑張りましょう。

第二学期はその年度の中核となり、大切な学校行事も多く、また、皆さんの身体的にも精神的にも大きな伸長が見られ、とりわけ学力面においても実力が大いに身に付く時期でもあります。ここで今一度、各自の目標をきちんと見定めて、今後の計画をしっかりと立て、力を発揮するようにしてください。応援しています！

けいとうか 鶏頭花秋を深める色と成し[耕]

🐘 そうさんの独り言 🐘

今の若い人は子どもの頃に、「知らない人と口を聞いてはいけない」と教えられていたために、他人にきちんと挨拶が出来ない人が多いと言う人がいます。現在も、大学に進学して社会に出てからも、人とのコミュニケーションは、挨拶に始まり挨拶に終わると言っても過言ではありません。挨拶には、相手の存在を認め、関わりたいという意思を伝える。相手に安心感や信頼感を与える。相手の反応で、その日の気分や体調を知ることが出来る等の効果があると言われていています。良い挨拶のポイントとしては、①真っ先に明るく自ら声をかける。②笑顔で目線を合わせる。③背筋を伸ばして腰を曲げてお辞儀をする。の3点です。人を選ばずにきちんと挨拶することが、自分の評価を高め、更には良好な信頼関係を築く第一歩になることを心に留めておくと良いと思います。

※ この紙面は学園のホームページからもご覧いただけます。<http://www.nichidai2.ac.jp/>

—図書館とわたしたち—

=本を友だちに=

全国大学生生活協同組合連合会が、2018年の秋に実施した学生生活実態調査を今年2月に発表しました。それによると、1日の読書時間が「0分」と答えた大学生が48%で、読書時間が「60分以上」と答えた人が26.7%おり、読書をする人とならない人の二極化が顕著化しています。今回の調査では、大学入学以前の読書時間についても聞いていて、高校時代は31%の人が全く読書をしていなかったことも分かっています。

皆さんが今後実社会に出て、様々な仕事をこなしていく上では、いろんな課題を解決していかなくてはなりません。どうすればよいか悩んだり、迷ったりすることもあると思います。そんな時は周りの人たちが助けてくれるかも知れませんが、若い時から1冊でも多くの読書を実践していれば、良いアドバイスや答えが見つかるかも知れません。本は昔から多くの人間の悩みを解決するために作られて来たと言う人もいます。決して遅くはありません。ぜひ本を友だちにすることをお勧めします。

図書館から

○いつものお願いになりますが、**図書**の返却期日を守ってください。次にその**図書**の貸出しを待っている人が困っています。図書の貸出しと返却が円滑に運びますよう、ご協力願います。

○図書の貸出しの際、生徒証（身分証明書のカード）の提示が必要ですが、忘れたという理由で、過去に友人の生徒証を借りて、貸出しを受けた人がいました。又貸し行為になりますので、絶対にしないでください。

○閲覧室や学習室でデスクを利用した際は、退室時には机の中へ座席をきちんと入れて、デスクライトを点けたら、必ずスイッチをOFFにしてから退室してください。

（1階の1人用デスク／中2階と2階学習室のデスクにライト設置あり）

—皆さんのご理解・ご協力をお願いします。—